安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	Resonance Bond Testing Couplant
供給者	オリンパス株式会社
住所	〒163-0914　東京都新宿区西新宿2-3-1　新宿モノリス
電話番号	0120-580414
FAX番号	03-6901-4251
緊急連絡電話番号	ケムトレック（Chemtrec） US: 1-800-424-9300, International: +1-703-527-3887
製品コード	3308193
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	接触媒質。
使用上の制限	知見なし。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素	
絵表示	なし。
注意喚起語	なし。
危険有害性情報	混合物は分類基準を満たしていない。
注意書き	
安全対策	産業衛生に気を配る。
応急措置	取り扱った後、手を洗うこと。
保管	避けるべき物質の近くに保管しない。
廃棄	廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	知見なし。
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	
重要な徴候	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。 敏感な人の場合アレルギー性の皮膚障害を起すことがある。
非常事態の概要	健康危険有害性に対して分類されていない。しかし、混合物または物質に対する職業被ばくは有害健康作用を引き起こすおそれがある。
国/地域情報	適用法令は第15項参照。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物

ＧＨＳにもとづいて危険な物質は含まれていない。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で洗う。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 症状が現れたら医師の手当を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。 敏感な人の場合アレルギー性の皮膚障害を起すことがある。
応急措置をする者の保護	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧。 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素（CO2）。
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。 火炎にさらされた容器は消火が完了した後もしばらく水で冷却する。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	火災にまきこまれた場合は燃焼する。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 流出した場合、床や表面が滑りやすいので注意する。 個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。 可能な場合は漏出物をせき止める。 バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。 製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。
二次災害の防止策	すべての着火源を取り除く（その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）	適切な換気を行う。
安全取扱い注意事項	熱、火花および裸火およびその他の着火源から離して保管する。 長時間の接触を避ける。 流出した場合、床や表面が滑りやすいので注意する。 本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。 産業衛生に気を配る。
接触回避	強酸化剤。 詳細については、本SDSの項目10を参照。
適切な衛生対策	本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件	涼しく乾燥した場所に保管する。 保管温度：0と35° Cの間 混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	通常は全体換気で十分である。

保護具

呼吸器の保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	通常は必要ない。 長時間または繰り返し皮膚に接触する場合は適切な防護手袋を使用する。
目の保護具	接触の可能性がある場合、サイドシールドのついた安全メガネが望ましい。
皮膚及び身体の保護具	通常の作業服（長袖のシャツと長ズボン）をお勧めします。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態	液体。
形状	粘度が中程度～高度の液体。
色	無色～かすかな色。
臭い	ほぼ無臭。
pH	7 - 9
融点・凝固点	データなし。
沸点，初留点及び沸騰範囲	182 ° C (359.6 ° F)
引火点	データなし。
燃焼性（固体，ガス）	該当しない。
燃焼又は爆発範囲	
爆発下限界（%）	データなし。
爆発上限界（%）	データなし。
蒸気圧	< 0.1 mm Hg
蒸気圧力温度	20 ° C (68 ° F)
蒸気密度	データなし。
比重	1.03 (H2O=1)
溶解度	
水溶性	100 %
n-オクタノール／水分配係数	データなし。
自然発火温度（発火点）	データなし。
分解温度	データなし。
粘度（粘性率）	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。

酸化能力 酸化性でない。

揮発性有機化合物 < 1 %

10. 安定性及び反応性

反応性 本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学安定度 通常状態で安定。

危険有害反応可能性 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件 加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。 混触危険物質との接触。

混触危険物質 強酸化剤。

危険有害な分解生成物 この製品が熱分解すると、一酸化炭素および二酸化炭素を生成することがある。

11. 有害性情報

急性毒性 急性毒性であるとは予想されない。

皮膚腐食性/刺激性 長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

呼吸器または皮膚の感作

呼吸器感作性 呼吸器感作性物質でない。

皮膚感作性 区分外。 しかし： 敏感な人の場合アレルギー性の皮膚障害を起すことがある。

生殖細胞変異原性 本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に関して、変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性 ヒトへの発がん性を分類できない。

生殖毒性 この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。

特定標的臓器毒性（単回暴露） 区分外。

特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分外。

吸引性呼吸器有害性 吸引性呼吸器有害性でない。

その他の情報 健康に対する急性または慢性的な影響に関して、その他の記録はない。 加熱時に生ずる蒸気・ヒュームは、気道を刺激することがある。

12. 環境影響情報

生態毒性 この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

残留性/分解性 この製品は生分解性と予想される。

生体蓄積性 本製品は生物蓄積されるとは予想されない。

土壌中の移動性 この製品は水に溶ける。

オゾン層への有害性 オゾン層に対して危険有害性でない。

他の有害影響 成分からのその他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送 未確定。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

プロパン－１，２－ジオール

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法	第四類第三石油類(水溶性液体) 危険等級Ⅲ
船舶安全法・危規則	該当せず。
航空法・施行規則	該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

オリンパス は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。 シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。